

文教福祉常任委員会記録

令和3年4月16日(金)午後0時58分～午後4時04分(9階909会議室)

○出席委員(9名)

委員長	萩原 太郎
副委員長	沢井 和宏
委員	山田 裕
委員	斎藤 正臣
委員	佐原 真紀
委員	二階堂利枝
委員	小野 京子
委員	粕谷 悦功
委員	半沢 正典

○欠席委員(なし)

○案件

所管事務調査 「廃止となった学校施設の状況確認」

- (1) 現地調査
- (2) 現地調査の意見開陳
- (3) その他

午後0時58分 開 議

(萩原太郎委員長) ただいまから文教福祉常任委員会を開会いたします。

所管事務調査、廃止となった学校施設の状況確認についてですが、初めに(1)、現地調査についてを議題といたします。

早速ですが、お手元に配付の調査日程に基づき、現地調査へ向かいたいと思います。

それでは、現地調査実施のため、委員会を暫時休憩いたします。

午後0時59分 休 憩

午後3時49分 再 開

(萩原太郎委員長) 委員会を再開いたします。

それでは、現地調査の意見開陳を議題といたします。

本日視察した内容及び聴取した説明に関してご意見のある方はお述べください。なければ、お一人ずつ。

(斎藤正臣委員) 視察中も皆さんおっしゃっていたとおりだと思うのですが、結局これをどうするのということに尽きるかなというふうに感じました。今教育委員会が所管していますけれども、市役所内でどこかが手を挙げなければ教育委員会が所管するというような状況であると思います。ただ、市役所内部の方々がああいった施設があるということを果たして知っているのかどうかということもそうですし、どの課がどういった使い方をするのかという提案なんかは議員としては必要なかなというふうに思うところはございました。ちょっと文教と今の話は離れてしまうかもしれないのですけれども。

あとは、校舎内の備品関係について、これの管理と、寄附されたピアノなんかもございましたけれども、そういったものの運用に関しては一体どうするのかというところを非常に疑問に思ったところです。

以上です。

(粕谷悦功委員) 見てみましたが、再利用できるという施設状況ではないなというのがまず最初の実感です。それと、そうであれば、そういう施設に対してどのような公共施設の再編管理計画というのかな、これをどのように考えているのか。それと、施設の中の状況ですけれども、それこそ何か問題が発生してから逃げ出したみたいな、もう当時物があつた状況そのままの状態で置かれているのだ。これは本当そういう施設の整理整頓を含めて管理がしっかりなされているのかということを感じました。だから、そういう不要なものは不要なものとしてしっかりともう処理して、これは処理までできないというものはやっぱり1つのところに集約して、そして施設を今後どのように、解体するのかとか、あるいは地域で活用ができるのかとか、あるいは売却できるのかとか、こういうことをしっかりと決めていかないと、今日見たところ以外にいっぱいあるのだ。蓬萊にも幼稚園2か所、廃園になったから。ただ、1か所は取り壊して更地にして売るといふことの計画になったけれども、もう一方の東幼稚園って新しいけれども、これもまだ決まっていけないのだ。だから、そういうことをやっぱり、今度水原も下川崎も松川もみんなそうだね。こういう問題がどんどん出てきますから、学校も。だから、それしっかりと方針を決めて、金がかかるといったって、いずれそういう状況にせざるを得ないので、計画的にその処理をするような取組を実施するということが必要だと思えます。

(佐原真紀委員) 今見せていただきまして、以前に私も全国の幾つか廃校になった学校をリフォームした宿泊施設などに泊まって利用したことあるのですけれども、耐震とか、あとはリフォームさえしっかりできていれば、管理する人がいて、そういった市とNPOで連携してやったような施設だったので、そういったことも可能なのではないのかなと思うのですが、なかなかそこまでやる方がいない

と、今のままではやはり何かしらに使うというのは難しいなと感じました。

以上です。

(山田 裕委員) 廃校といいますか、少子化の今の世の中を反映している、そういう施設になっているなということで、今の世相といいますか、それを実感したというのが1つです。

もう一つは、再利用が難しいのではないかという話ありましたけれども、私はもっともっと使えるのではないかと思ったのです。上染屋分校では楽器だとか、アンプだとか、スピーカーまであって、写真を見ると、音楽の演奏を若い人たちがやっているという、そういう写真もありましたから、多分地元の人ではなくてどこかから集まってきて演奏しているのではないかと思うのです。つまりそういう場があれば少し遠くても行くということだと思うのです。霊山に里山がっこうってあるのですけれども、山の奥にそういう施設があるのだけれども、美術展やったり、文化祭やったりというところに結構人が集まるのです。ですから、そういうような活用の仕方をちょっと知恵も出してやれば市民にも喜ばれる施設になるのではないかというふうに思いましたので、ああやって放置して維持費にお金かけているのだったら、私は、もっともっと市民の要望も聞いて、それを反映するような施設にしていったらいいのではないかなというふうに思いました。

(半沢正典委員) もう皆さんお話しいただいたとおりに、特に今回は過疎化の中の閉校したところなので、再利用といってもなかなか厳しいのかなと。皆さんも既におっしゃっているとおり、正直そういう印象を受けました。粕谷委員がおっしゃったように、備品なんかも本当にそのまま放置したような状況で、正直担当課も朽ちるのを待っているというか、ちょっといろいろ予算の要求も大変だし、担当としてはあまり触れたくないのかなというのが正直なところかなというように推察もしたところではありますが、正直言って茂庭の小学校って場所的にも非常に可能性があるなど。校舎も古くないにもかかわらず、なかなかそれでも難しいという実態を今回かいま見たときに、今日回ったところは少なくとももう早期に除却するとかという方向性の中で、山田委員の意見も大切にしながら、早期にやっぱり除却するなりして考えないと、いずれは除却しなければいけないし、その分維持費がかかるといことで、体育館なんかは残してもいいと思うのですけれども、そういうことを市も一歩踏み出して、財政としっかりと連携しないと本当に難しいのかなという気がしております。だから、除却に向けてしっかりと議論すべきだなと思いました。

(二階堂利枝委員) もうほとんど皆さんがおっしゃっているとおりかと思うのですが、でもまだ使えるものは使ったほうがいいなど。建物でも。今ハード面のほうが結構、何か建物があったらできることってあると思うので、それをこのコロナ禍で新しい事業とか、いろいろ考えられることってあると思うのです。なので、そういう何か新しいことを考えるチームみたいなのがあって、こういう廃校とかを利活用する人たちを一般募集するなり、駄目もとてもまだ何かやってみるというのはあるのではないのかなと。このままただ壊してしまうのは何かもったいないなと思います。しかも、備品とかもまだ使えるものもたくさんあるし、ああいうものをネットで売るチャンスもたくさんあると思うので

す。あのままにしておくのだったら、本当にちょっとでもお金になる方法を考えて、それであの施設を地元の人と考えながら残しておくという方法もあるのではないのかなと思いました。

(小野京子委員) 皆さんから出たとおりですけれども、私もやっぱり本とか楽器とかピアノですか、使えるものは使っていく、本でもやっぱり本当に小学生が見て大事なものの、遺伝とかいうのもあったので、使えるものはきちんと使える方向に進めてもらえればなと思います。あと、建物のほうもやっぱり壊すという、大波小とかも感じるところもありましたけれども、松川の幼稚園とかそういうところで今二階堂さんが言ったように公募して、若い人たちが、自分たちが何かやりたいという、そういう募集したときに思えば、何かに役立つものがあればそういう方向に考えるのも一つかなと思います。以上です。

(沢井和宏委員) 皆さん言われたことなのですからけれども、やはり市として全庁的にどういう計画があるのか、もっと積極的な処分なり、活用なり、積極的な計画がやっぱり必要であるとは思いました。どうしても教育委員会だけで抱えているのではなくて、やっぱり部署によっては活用できる部署もあったりなんかする可能性もあるかもしれないし、とにかくあのままにしておいてはいけないということを、特に残っている、私も学校に勤めていた身からすると、やっぱり備品なんかは、普通は統廃合する学校にみんな備品は寄せるはずなのですからけれども、何で残したのかなというのがちょっと分からないのですけれども、ちょっと悲しいかなという気がしました。

あともう一点は、皆さん言わなかったのは校庭の遊具なのですからけれども、あそこに自由に入れる状況の中で、万が一あそこでけがしたとか、聞いたら点検はしていないということなので、だんだん朽ち果てるだけだと思うのですけれども、あその安全面でやはり危ないのだったら撤去すべきのかなとは思ってはいたのですけれども、それを今度市の責任として問われる可能性も出てくるのかななんて思いました。

以上です。

(萩原太郎委員長) 私のほうからも皆さんとほとんど同じ考えであります。市では、施設について、それぞれの個別計画とかというようなこともつくりましたけれども、大まかな個別計画であって、もっと具体的な個々の個別計画もどンドンやっていかないと、無駄に税金を使って維持していくというようなことのようなので、その辺も併せてこれから早急に考えるべきというふうに思っておる次第であります。

そのほか、皆さんから言い忘れた、付け加えたいことはございませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) ご意見がなければ、以上で現地調査の意見開陳を終了いたします。

その次に、その他を議題といたします。

委員の皆さんからその他として何かございませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) ないようですので、以上で文教福祉常任委員会を閉会いたします。

午後4時04分 散 会

文教福祉常任委員長 萩 原 太 郎